

令和3年度 学校だより 2月号 1月31日発行

横浜市中区山元町3-152
電話 641-4857



やまもと

横浜市立山元小学校
校長 石田 薫

自分を大切にできる子 共に生きる子 山元の子

農園と子ども

副校長 前島 潤

本校では、休み時間になると、運動場を全速力で走る子どもたちの姿が目立ちます。どこをめがけて走るのか。その行方を追うと、そこには農園があります。農園に向かって走る子どもたち。農園への強い思いが子どもたちの足を速めます。山元小学校の名物といってもよい光景です。

およそ300坪の農園では、春夏野菜、秋冬野菜の栽培を全学年が行っています。こんなに広い自前の畑をもつ学校はなかなか無いでしょう。そこで子どもたちは、年間2回、6年間で12回も野菜の栽培を行うのです。1、2年生は主に生活科の時間、3～4年生は総合的な学習の時間の単元として活動しています。収穫した野菜は給食の食材としたり、学年や学級で調理したりしていただきます。まさに地産地消です。

昨年度は感染症予防の観点からサツマイモの栽培のみでしたが、今年度は春夏、秋冬と充実した活動を行うことができました。収穫の時期には、両手に立派な野菜を抱え、農園から戻って来る子どもたちの姿を毎日のように見ました。どの子も笑顔いっぱい、私や校長先生に採れた野菜の自慢をしていきました。

農園での学びは多様です。

1年：生活科「動植物の飼育・栽培」「生活や出来事の伝え合い」

2年：生活科「動植物の飼育・栽培」「生活や出来事の伝え合い」

3年：総合的な学習「農園活動」 理科「身の回りの生物」

4年：総合的な学習「農園活動」 理科「季節と生物」

5年：総合的な学習「農園活動」 社会「我が国の農業や水産業における食糧生産」

理科「植物の発芽、成長、結実」 家庭科「衣食住の生活」

6年：総合的な学習「農園活動」 理科「植物の養分と水の通り道」「生物と環境」 家庭科「衣食住の生活」

3.4組：生活単元「農園活動」※他の教科等は所属学年に準じます。

他にも、国語で体験を文章に表したり、算数で長さや面積の概念を学んだり、特別活動で収穫を祝う計画を立てたりと、農園での活動は各教科等の学びに結び付いています。子どもたちの思いや願いに基づいた活動であり、豊かな体験を通した実感を伴いますので、得た学びは自然と深いものになっていきます。

また、農園は情操を育む場でもあります。1年生にとって農園での野菜の栽培は初めてのことであり、畑づくりから収穫までいろいろと問題が出てきます。そこで他学年の子どもたちのアドバイスが必要となります。特に6年生は経験に基づいた知識が豊かで頼りになる存在です。1年生は6年生を敬い、6年生は1年生を大切にしながら助けていきます。このように農園では、学級、学年、学校、地域の人たち、そして、自然とも豊かにかかわっていかうとする気持ちが育まれています。

研究会で本校を訪れた他校の先生や遠足などの校外学習でお世話になった方々から、本校の子どもたちの姿に対し、お褒めの言葉をいただくことがあります。私も赴任して2年目になりますが、子どもたちの学びの姿勢や他者とのかかわり方に感心することが多いです。地域の皆様、保護者の皆様のお力によるところが多いと思いますが、農園の活動も、子どもたちの素敵な姿をつくる力となっていると思います。

土に触れることは、癒し効果、ストレス軽減、健康増進にもつながるそうです。

山元小は、これからも、農園の活動を大切にしていきます。



新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、心配な状況が続いています。

本校では、横浜市教育委員会より出されましたガイドラインを順守し、教育活動を行っています。子どもたちの健康、安全を第一に考えながら、安心して学校生活を送ることができるように努めてまいります。

各家庭におかれましても、感染予防に努めていただけますよう、お願い申し上げます。